

## 別紙様式 4

在外教育施設国際交流ディレクター志望者健康診断書				
所 属		職 名		
氏 名			性 別	男 ・ 女
年 齢 ( 生 年 月 日 )		歳 ( 昭 和 年 月 日 )		
健 康 診 断 年 月 日		平 成 年 月 日		
既 往 症				
身 長 ( cm )				
体 重 ( kg )				
視 力	右	( )		
	左	( )		
聴 力	右			
	左			
結 核 の 検 査	間 接 撮 影	撮 影 年 月 日	平 成 年 月 日	
		フ ィ ル ム 番 号		
		所 見		
	直 接 撮 影	撮 影 年 月 日	平 成 年 月 日	
		フ ィ ル ム 番 号		
		所 見		
査	喀 痰 検 査	年 月 日	塗 培	
	聴 診、打 診 其 他 の 検 査	年 月 日		

血		圧	/
尿		蛋 白	
		糖	
胃 の 検 査	間 接 撮 影	撮影年月日	平成 年 月 日
		フィルム番号	
		所 見	
貧 血 検 査		血色素量 ( g / )	
		赤血球数(万 / 立方mm)	
肝 機 能 検 査		GOT ( IU / )	
		GPT ( IU / )	
		- GTP ( IU / )	
血 中 脂 質 検 査		総コレステロール(㎎ / )	
		トリグリセライド(㎎ / )	
心 電 図 検 査		a 異常なし    b その他 (            )	
その他の疾病及び異常			
総合所見 ( A   B   C   D   E   F )			
特記事項 :			
医療機関名		担当医師名	
		⑩	

(注)

1. 「年齢」の欄は、平成17年4月1日現在の満年齢を記入する。
2. 「健康診断年月日」の欄は、健康診断の全部を終了した年月日を記入する。
3. 「既往症」の欄は、平成16年7月末現在で、肺臓・消化器系・肝臓・腎臓の疾患、頸椎・腰椎・脊椎の打撲について記入し、治癒年月を( )書きする。
4. 「視力」から「その他の疾病及び異常」の欄の健康診断の方法及び技術的基準については、学校保健法施行規則第11条第1項の規定によるものとする。
5. 「身長」及び「体重」の測定単位は、小数点第2位で四捨五入し、小数第1位までを記入する。
6. 「視力」の欄は、裸眼視力を( )の左側に記入し、矯正視力を検査したときは、これを( )内に記入する。
7. 「聴力」の欄は、聴力低下が認められる場合には、 印を記入し、併せて該当する周波数及び聴力レベルを記入する。
8. 「血圧」の欄は、最大血圧を斜線の左に、最小血圧を斜線の右にそれぞれ記入する。
9. 「尿」の欄は、尿中に蛋白又は糖を検出した場合は、それぞれの欄に+等の記号を記入する。
10. 「その他の疾病及び異常」の欄は、疾病又は異常(特に消化器系の異常、目の伝染病の有無)の病名等を記入する。
11. 「総合所見」の欄は、次の所見区分により判定し、 印を付ける。各検査項目の検査の結果、特に注意を要する事項について記入する。

【所見区分】

- A : 今回検査した範囲内では何等異常所見を認めません。
  - B : 軽微な所見が認められるが病的意味はないと考えられます。
  - C : 軽微な所見が認められるが現在のところ病的なものと断定できません。しかし、病的なものに移行する場合がありますので経過観察の必要を認めます。
  - D : 病的所見である可能性が強いが今回の検査だけで断定できませんので精密検査を要します。
  - E : 軽度ではあるがはっきり病的と言える所見があります。医師の診察の必要を認めます。
  - F : かなりはっきりした病的所見があります。直ちに医師の診察と治療を要します。
12. その他
- この健康診断書の各検査項目の記入内容については、平成16年9月1日現在で検査後3か月以内の検査結果によることができる。

本診断書は厳封(本人開封無効)の上、本人にお渡しく下さい。